

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

BAT POST

(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報

2025

04
APRIL

福山支部青年部会40周年記念行事

Contents

- 新会員紹介 ————— P.01
- TOPICS.01** ● 福山支部3月支部例会 ————— P.02-03
- TOPICS.02** ● 青年部40周年記念行事 ————— P.04-05
- 地区会報告 ————— P.06-10
- 部会だより(青年部・女性部) ————— P.11-12
- 委員会だより(経営労働委員会 他) — P.13
- 支部理事会報告 ————— P.14
- 行事カレンダー ————— P.15

県スローガン

Human First!

～新時代へ挑戦～

福山支部スローガン

私たちが創ります 私たちの学び舎を
～いまこそ主体的に動こう～



(一社) 広島県中小企業家同友会 福山支部報
発行責任者 広報委員長 春名 孝一郎

〒720-0066 福山市三之丸町8-16 福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL 084-923-0286 FAX 084-923-0284
URL <https://www.hiroshima.doyu.jp> e-mail fukuyama@hiroshima.doyu.jp

NEW
MEMBER

2025年2月/3月 新会員ご紹介

2月
入会



お酒の提供・ダーツ・カラオケ
相席 BAR encount
代表
高智 浩貴(E)

紹介者

(株)豊生 山本晃二氏

相席BARエンカントは、相席屋としてもBARとしてもお楽しみ頂けます。友活、恋活、婚活と目的はそれぞれあると思いますが、性別や年齢にとらわれず全ての人々が価値観や感性を高めあえる空間を心がけていますもちろん相席目的ではなく、友達や恋人とのご来店也大歓迎です。スタッフ一同よりお待ちしております。

2月
入会



エクステリア
井上創建
代表
井上 俊太(B)

紹介者

(有)アイム 吉山聡氏
ホリスティックブレイン学院(株)
藤原留衣氏

はじめまして。神辺町を拠点に外構をやっております井上創建と申します。まだまだ開業したばかりで勉強する事ばかりですが頑張っていきますので宜しくお願い致します。

3月
入会



アパート・施設の退去清掃
店舗の床清掃など
エイト
代表
新田 将志(D)

紹介者

O・I (株) 坂本修二郎氏
(株)イアック 内海陽平氏

福山市内を中心にマンション・アパート・施設・会社等の清掃業務全般を行っております。お客様に感動を与えるキレイを目指し、従業員一同日々精進しております。どうぞよろしくお願い致します。

3月
入会



外構工事・エクステリア・解体工事
(株)ブレイブ
代表取締役
江見 知哉(E)

紹介者

タカラ装飾(株) 高橋由倫氏
イシケン(株) 石川倫之氏

江見です。よろしくお願いします。外構工事・エクステリア・解体工事はブレイブにお任せください。

3月
入会



菓子製造卸売
風月堂
代表
政延 三代子(S)

紹介者

(株)タテシ広美社 立石克昭氏
(有)高山工業 高山稔基氏
(株)昭和工業所 葛間立人氏

はじめまして!

府中市で風月堂という屋号にて、卸菓子製造業を経営しています。同友会では経営者に必要な幅広い知識を学び、積極的に生かしていきたいと思ひます。

次回新会員オリエンテーション

2025年6月6日(金) 19時
ローズコム大会議室

「ようこそ、同友会へ!」会員一同、新会員の皆さまを心より歓迎申し上げます。「3つの目的~良い会社、良い経営者、良い経営環境」の実現に向け、共に切磋琢磨していきましょう。さて、ご入会を機に、少しでも早く同友会の活動に慣れると共に、同友会の目的・理念・歴史を正しくご理解していただくために、「新会員オリエンテーション」を開催いたします。ご入会いただいた方には、早いうちに必ず1度は受講いただくのが「新会員オリエンテーション」です。ご多用中とは存じますが、ご参加を賜りますよう、ご案内申し上げます。

ものづくりからまちづくりへ ～ビジョンと実践～

報告者 (有)テヅカ精機 代表取締役 手塚良太氏(長野)

3月12日: 福山ニューキャッスルホテル

経営者が集い、理念を語り合い、成長を目指す
同友会。学びを会社の血肉に——“とりもどき”
にならないための実践報告!

2025年3月12日、福山支部例会に登壇した手塚良太氏の報告は、理念を「語る」だけでなく「行動に移す」ことの重みを伝える内容だった。

家業を継いだ当初周りの人から「人が住む場所じゃない」「そんな会社は何の価値がある」と否定され、毎夜公園のブランコで泣きながら缶ビール。落ち込んでいた時に、父からちょっと来いと言われて、車に乗せられた。どこへ連れて行くんだろうと思ったら、倒産した会社。いくつも連れて行かれた。父が言った。『お前が継いでくれなかったら、うちもこうなっていた』大きな転機となった。「本当にやりたい経営とは何か」を自問しながら、手塚氏は再出発を図った。そこから始まった経営再建の歩みは、同友会での学びによってさらに大きく動き出す。

同友会に参加し、「経営指針をつくる会」に進んだ頃は、まだ経営も理念もよくわからない“ひな鳥”状態だったという。だが、一方で、それらしい言葉だけを並べ、何も会社に落とし込めていない“とりもどき”の存在にも気づいた。社員と共に1年かけて作った経営理念は、単なる飾りではない。対話と現場での実践を通じて社内に浸透し、今では「共通言語」として、あらゆる判断の土台になっている。

手塚氏の組織運営の信条は「1割トップダウン、9割ボトムアップ」。社員に任せ、信じ、あえて失敗させて学ばせるこ



手塚良太氏

とで、主体性と責任感を育てている。

10年ビジョンは「月曜日がワクワクする会社」。焼肉やゴルフ、ウォーキングなど、日常の中での社員とのふれあいも大切にしながら、働くことが楽しい会社を目指す。また近年は、企業の枠を越え「まちづくり」へと視座を広げ、地域課題にも積極的に取り組んでいる。

最後に語られたのは「信じる力」——社員、仲間、地域、そして自分自身を信じる。その積み重ねこそが、“とりもどき”を超えて本質的な経営をつくるのだと、手塚氏は力強く語った。

次回例会案内

第43回 福山支部定時総会 (総会・記念講演・懇親会)

と き 5/14(水) 18:00～21:30(受付/17:30～)

●総会の部・中期ビジョンの発表(18:00～18:55)

●記念講演(19:05～20:05)「人を生かす経営」

(株)オーザック 取締役 副社長 岡崎瑞穂代表理事

●懇親会(20:15～21:30)

ところ 福山ニューキャッスルホテル

会 費 9,000円(懇親会にご参加の場合)



記念講演「人を生かす経営」
(株)オーザック 取締役副社長
岡崎瑞穂氏

総会にご欠席の場合、e.doyuの回答をもって委任状といたします。総会は会員の過半数(委任状も含めて)の出席で成立します。準備の都合上、5月7日までに返信をお願いいたします。

僕には耳の痛い話が多かった。
何かを理由にして動かない自分があるので
今日からはそこを改善しようと思います。

(有)テヅカ精機 代表取締役 手塚良太氏の発表は僕には耳が痛い話が多かったです。ビジョンの共有、地域貢献、地域の人とのコミュニケーションなど地域に必要とされる企業になっている話はワクワクしました。

ワクワクした点—①意識の高い社員が多い ②地域に必要とされている会社の話 ③今後の展開の話

地域に相談されて会社を作り地域貢献する話は地域性もあるとは思いますが、同友会の理想の形だと思いました。今後の展開など会社で共有し、意欲のある社員などは同

友会で一緒に勉強しているのもすごいと思いました。まずは行動、周りとのコミュニケーションして同じ方向に動く、そのことも僕はできていません。同友会の仲間ともコミュニケーションができていない気がします。仕事が忙しいから、とか他の会が忙しいからとかできない理由を仲間に言われたらあまりコミュニケーションしなくなったりしている現状において何かを理由にして動かない自分があるので、今日からはそこを改善しようと思います。利己主義から利他主義へと変わること、自分から積極的に話かけるこの2つを今年は考えて動けるようにしたいと思います。企画の皆さんも、支部例会に携わった皆さんありがとうございました。



クイックマッサージ
ディライト
春名 孝一郎(F)



手塚氏の報告は刺激を受ける所が多かったと思います。
「とりもどき」にならないようにしっかりと経営を
していこうと思います。

中同協青年部連絡協議会代表でもある手塚氏の報告は刺激を受ける所が多かったと思います。

経営が分からなくて同友会に入会することになり、先輩達を見て実践している人はカッコいいと思い様々な取り組みをしてこられました。しかし、なかなか上手くいかず同友会も参加すればするだけ叱られる日々を過ごされていたところ経営指針の作成をしていくことになります。一年かけて仲間である社員と共に経営指針を作りそこから会社が変わってきたということでした。

手塚氏の社員教育のスタンスはチャレンジ→失敗→成長に繋がるです。そうすることで一人一人輝く社員が増えてきました。指針書は毎年1割のトップダウン、9割のボトムアップでブラッシュアップしており、社員の意見を重要視しています。「ものづくりからまちづくり」と考えており、テヅカ精機を中心として関連企業も多数立ち上げ雇用を含めまちを盛り上げていってました。地域での問題を解決する会合を週一回設けて町役場の人達と一緒に取り組んでも



います。そんな手塚氏の思う社長の仕事とは「旗を振り続ける」ことだと言われており今後益々の活躍が期待できました。同友会での活動に参加して経営をしている気になっている人を「とりもどき」と表現されていましたが「とりもどき」にならないようにしっかりと経営をしていこうと思います。

また、この日は福山支部青年部40周年記念式典もありました。

青年部OBとして久しぶりに青年部で関わった人達と談笑ができ懐かしい気持ちになりました。設営に尽力してくれた青年部現役の皆さんありがとうございました。



二見義和行政書士
事務所
二見 義和(P)

福山支部青年部会 40周年記念行事 ～感謝～

3月12日：福山ニューキャッスルホテル
懇親会20:15～22:00

歴代青年部先輩方が築いた40周年。
「温故知新」を胸に、先人の知恵を大切にしながら、より良い活動を目指して次の一步へ

2025年、広島県中小企業家同友会 福山支部青年部会は創立40周年を迎え、「感謝」をテーマに記念式典を開催した。「何のために、誰のために働くのか」——そんな問いから始まったこの節目の場は、経営者としての原点を見つめ直す機会となった。

1984年に立ち上げられた同部会は、初代部会長・内田氏の「気持ちで負けない組織をつくる」という強い想いから始まった。法務・税務の専門家を巻き込み、実践的な学びの場を構築。本気で学び、本音で語り合う文化を根づかせ、信頼と絆が築かれていった。そうした姿勢は今なお受け継がれ、青年部の根幹を成している。

式典では歴代部会長やOBが登壇し、それぞれの時代の挑戦や想いを共有。「本気・本音で人と向き合うことの大切さ」や「仲間と支え合いながら成長してきた日々」への感謝が言葉の端々ににじんだ。交流を超えた深いつながりこそが、青年部の強さであることを再認識する時間となった。この40年は、多くの出会いと支えの積み重ねであり、それに対する感謝の気持ちが、会のあらゆる場面にあふれていた。そして次期部会長予定者からは、「先輩方の築いてきた価値を、次の世代へ確実に引き継ぐ」との力強い言葉が寄せられた。

本気で関わり、本音で語り、感謝を忘れずに歩んできた青年部会。その歩みは、仲間と地域をつなぐ力となり、これからの50年、100年へと確かに受け継がれていく。



当日の動画は
QRより→



オープニング



記録映像



当日ダイジェスト



月曜日がワクワクする人が輝く信頼企業 過疎が進む地域で、誰もが働け、地域から 一番頼られる会社を目指して

福山支部青年部会は今年、設立40周年を迎えました。この節目に際し、私たちは歴代の先輩方が築いてこられた礎に感謝し、未来への新たな一歩を踏み出す決意を固めました。

本行事は、「感謝」をテーマに掲げ、先人の知恵を大切にしながら、新たな挑戦へと繋げる機会となりました。

第一部の支部例会報告では、有限会社テヅカ精機 代表取締役 手塚良太氏（中同協青年部連絡会代表/長野）から同友会活動における役割が示され、参加者は改めて自身の経営に向き合う契機を得ることができたと感じています。

第二部の懇親会では、123名が出席しました。多くの方々が青年部会の発展を共に祝い、過去の歩みを振り返りながら未来への展望を語り合いました。来場者からは「40年の歴史を大切にしながら、さらに発展させる決意が感じられた」「先輩方の想いを受け継ぎ、次世代へ繋ぐことの重要性を実感した」との声が寄せられました。また、初代

「仲間を大切に、率直に意見を交わし合いながら成長すること」が青年部の本質であり、その精神を次世代へ受け継ぐことが、今後の私たちに求められる役割であると感じました。

青年部活動は、単なる学びの場ではなく、共に経営課題に向き合い、解決策を見出す場です。40周年を機に、私たちは改めて「感謝」「繋がり」「未来」を胸に刻み、次の50年へ向けた歩みを始めていきます。

本行事を成功に導いてくださったすべての関係者の皆様、参加者の皆様に心より感謝申し上げます。これからも青年部会は、地域の経営者が集い、共に成長し合う場としてさらなる発展を目指してまいります。



40周年実行委員長
(株)ウラベサインボード
占部 篤彦(A)



A 地区会

マンダラチャートのグループワーク ～あなたは明日から何をしますか？～

■日時:3月21日(金)
■会場:市民参画センター
■参加者数:17名

報告者

(株)セイキ工販 土生 宗主 氏
(株)徳一 広川 賀一 氏
(株)オーザック 岡崎 隆 氏

A地区3月例会を、市民参画センターで行いました。メジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手は高校時代にマンダラチャートを作成して、具体的な目標を実行することで夢を実現したことが知られています。

そこでこの度の例会では、同友会三つの目的である「良い会社」「良い経営者」「良い経営環境」を中心テーマとしてマンダラチャートを作成するグループワークを行いました。

これに先駆け、(株)セイキ工販 土生社長、(株)徳一 広川社長、(株)オーザック 岡崎会長より、マンダラチャートに取り組んだエピソードをお伺いしました。グループワークでは、1階層を決定する項目により2階層の内容が出づらくなるなどを体験しつつ、各グループ時間一杯苦労されておりました。今回のグループワークを踏まえて、各人が自社のためのマンダラチャートを作ることが宿題になり自社を見つめる機会を得た事は良かったと思います。

最後に、運営をいただいた幹事メンバー、オブザーバー参加していただいた皆さん、事務局、関係者の皆様、例会がスムーズに進行したことに感謝します。本当にありがとうございました。



村上建設(株)
村上 徹朗(A)

B 地区会

決めた！私はなにもしないぞ！ ～社員への権限移譲～

■日時:3月21日(金)
■会場:ローズコム
■参加者数:54名

報告者

協同精機(株) 新川貴子氏

今回の例会発表では、新川さんが入社から今日までの覚悟と成長について具体的にお話しされました。特に、社員数が増加することに伴い、業務の負担が増えてきた中で、どのようにして自分の役割を見直し、社員に権限を移譲していくかという課題に取り組んでいる姿勢が印象的でした。業務が増える中で、自分だけで抱え込むのではなく、社員に適切な権限を与えることが、組織の成長にとって不可欠であるという認識を持ち続けている点が強調されていました。また、経営者としての立場から、日々の業務に追われて新規事業に取り組む時間を確保することが難しく、役割分担の曖昧さや文鎮型組織の問題に直面している現状についても触れられました。この問題については、社員数が増えるにつれて、役割や責任の明確化が必要だと感じるようになったとのこと、組織の成長に伴って適切な構造改革が求められることを再認識させられました。さらに、有給休暇の取得に関して、社員一人ひとりの悩みに寄り添い、同じ立場で考える重要性が示されました。経営者が一方的に方針を決めるのではなく、社員が抱える問題や悩みを共に考え、解決策を模索することが、社員のモチベー

ションや働きやすさに大きく影響するという点に深く共感しました。

特に、社員が健康的に働ける環境を作り出すことが、長期的な企業の成長にとって重要であると感じました。新川さんの発表を通じて、経営者としての覚悟やリーダーシップのあり方、そして組織をより良くするために必要な工夫について多くの学びを得ました。社員への権限移譲や業務の効率化、新規事業への時間確保といった課題に対して、どのように取り組むべきかという具体的なアプローチについて考える機会となりました。また、社員が自分の役割に誇りを持ち、モチベーションを高く保てるような環境づくりが、経営者の重要な役割であることも改めて感じました。

今回の発表を通じて、組織が成長していく中でどのように自分の役割を調整し、社員を支援していくかという視点が非常に重要であるかを実感いたしました。これからの自分自身の成長にもつながる貴重な学びを得ることができ、今後の仕事に活かしていきたいと強く感じました。



福三商会(株)
藤原 知克(B)

D 地区会

D 地区総会 ～楽しく学ぼうそして自社で実践しよう～

■日時:3月19日(水)
■会場:福山市西交流館
■参加者数:22名

報告者 (有)アイム 池田 弘典 氏
各小組長

D地区の3月例会は総会を実施いたしました。

狙いと目的としては、2024年を振り返り2025年をより良い地区会にしようという目的のもと、地区長の方針発表年間計画の発表をしていただき、地区会をより良いものにするためにはまずは小組会の充実が必須ということで各小組長にも反省と、方針発表をしてもらいました。

小組長の共通の課題として小組会の参加者が少ない、つい自分ですべてしてしまう、なかなか会員さんに頼めない等のご意見がありました。その意見の元、グループ討論では自社の課題や、どんな勉強をしたいか、どんな地区会にしていきたいかということを話し合いました。小組会運営も会社経営も、いかに他人事ではなく自分事のように思ってもらえるかというのは共通することだと感じました。

とにかく実践していきPDCAを回していくことが同友会も会社経営も大切だと感じました



(株)ソーテックス
コーポレーション
小野 貴正(D)



E 地区会

拙者、(株)青電設と申します！ ～人脈作りを得意としてます～

■日時:3月17日(月)
■会場:ローズコム
■参加者数:36名

報告者 (株)青電設 徳永治夢 氏

徳永氏による体験発表が行われました。私が特に印象に残ったのは「利他の精神」「相手に関心を持つ」「人との繋がり」という言葉です。人脈作りを強みとする徳永氏の姿勢には学ぶことが多くありました。恥ずかしながら私自身に足りていない部分だったので、その行動・スキル・努力に驚きました。また、人との関係を大切にする為に、アンガーマネジメントを取り入れていたり、相手の趣味嗜好を調べ、喜んでもらえるよう努力するという点にも感銘を受けました。人とのつながりを築くだけでなく、それを維持し、深めていくための具体的な行動も聞くことができ、学び・気づきが多かつ

たです。

グループ討論では、「信頼作りが人脈作りにつながる」という意見が印象的で、単に人と繋がるだけでなく、信頼を築くことの重要性を再認識しました。また、「仕事とは困り事を助けるもの」という視点も改めて気付かされました。私自身、自己満足に陥る傾向がある為、改めて顧客の困り事を解決する意識を持つ必要があると反省しました。さらに、感情的になったときに人付き合いで失敗することがあるという話には共感し、自分自身も冷静な対応を心がけたいと感じました。

今回の例会を通じて、人脈作りの本質や、人との関係を長期的に築くための考え方について深く学ぶことができました。ビジネスにおいて「誰とどのように関わるか」が大きな影響を与えることを改めて認識し、今後の経営に活かしていきたいと強く感じました。これからも、人との繋がりを大切にしなが、信頼関係を築き、長く続く事業を目指していきたいと思います。



フィルムポケット
笹田 良平(E)



F 地区会

SDGs を体感し環境経営を学ぶ

■日時:3月19日(水)
■会場:県民文化センターふくやま
■参加者数:19名

報告者

あいおいニッセイ同和インシュランス
サービス(株) 福山支店長 池上良則 氏

SDGs達成に向けた具体的な取り組み事例を、池上支店長にご紹介いただきました。地域社会との連携、環境負荷低減に向けた取り組みなど、多岐にわたる活動が紹介されました。

参加者全員で、SDGsをテーマにしたゲーム「Sustainable Community」を体験しました。このゲームは、参加者がそれぞれの役割を担い、協力しながら持続可能な地域社会の実現を目指すものです。

ゲームスタート時はルールの理解に苦しみました。ゲームを通じて、参加者はSDGsの目標達成には、経済、社会、環境のバランスが重要であることを体感しました。特に、ほとんどのグループでゴールを達成することができ、参加者は協力することの重要性や達成感を共有することができたと思います。他者との協力や交渉を通じて、合意形成の難しさや重要性を学ぶことができました。

今回の例会では、池上支店長による企業の具体的な取り組み事例の紹介やカードゲーム体験を通じて、SDGsに対する理解を深めるとともに、自社の環境経営について考える貴重な機会となりました。カードゲームでほとんどのグループがゴールを達成でき

たことは、参加者にとって大きな成功体験となり、SDGs達成への意欲を高める効果があったと思います。

参加者からは、「SDGsを他人事ではなく、自分事として捉えることができた」「今日学んだことを、自社の経営に活かしていきたい」などの感想が寄せられました。



(株) TK ONESTEP
津田 浩一(F)



G 地区会

初めまして、啓誠建築 遠藤です ～教えて下さい！経営課題の解決のヒント～

■日時:3月19日(水)
■会場:市民参画センター
■参加者数:18名

報告者

啓誠建築 遠藤康平 氏

本例会では、啓誠建築の遠藤康平氏が、自社の現状や課題を率直に語りました。阿部氏によるインタビュー形式で進行し、遠藤氏が伝統建築にかける思いやこれまでの歩みだけでなく、現在直面している営業活動の課題を具体的に聞くことができました。遠藤氏はSWOT分析を活用して自社の強みや弱みを整理され、特に「新規顧客の獲得」や「営業力の不足」が最優先の課題であると打ち明けられました。高い技術力があるにも関わらず、その

強みを十分伝えきれず、集客や顧客開拓に苦戦している実情が浮き彫りになりました。「毎週決まった曜日を営業日にする」

という遠藤氏自身の提案には「業務をこなしながらの継続は難しいのでは」という声もあり、現実的な問題点が共有されました。

インタビュー後のグループ討論では、参加者が営業に関する成功・失敗事例を惜しみなく共有しました。特にInstagramを使った集客については、投稿頻度や写真の見せ方、ターゲットを意識した情報発信方法など、具体的で役立つ助言が多く挙げられました。また、「費用はかかるが、自社の強みを生かした広告戦略として、技術力を示すモデル的な『看板』や施工例を積極的に活用することも効果的」といった意見もありました。

私自身も、営業や集客は事務所経営で最も苦労している課題の一つです。今回共有された具体例や意見を自分の事務所に置き換え、積極的に取り入れていきたいと考えています。同友会ならではのこうした具体的な意見交換の場を今後も大切に、遠藤氏をはじめ、参加メンバーが共に成長していけることを期待しています。



赤崎行政書士
事務所
赤崎 元昭(G)



報告者/啓誠建築 遠藤氏



コーディネーター
阿部氏とともに



最後はやっぱりGでしょ！

I 地区会

『初めての指針発表』 ～ワンチームになるために～

■日時: 3月17日(月)
■会場: 銭湯ゆうゆ
■参加者数: 18名

報告者 (株)ゆうゆ 山本文子 氏

I地区3月例会は、県同友会が主催する「ひろしま経営指針塾」8期生の山本文子氏による指針発表会を行いました。

発表会は山本氏の社員さん2名を含めた7名のオブザーバーの方にもご参加をいただきました。

オールハンドの痩身エステ技術を強みとする(株)ゆうゆさんのこれまでの経営を振り返られたとき、辛い時期を社員さんとともに乗り越えたエピソードでは涙を誘う場面があったり、グループ討論では笑いあいの闊達な意見交換が行われたり、質疑応答の場面においてはあえて社員さんに感想を求めて貴重な意見を聞くことができたりと、とても充実した地区例会になりました。

その後の懇親会においても「そろそろ次の地区会長を・・・」という問題提起が小川地区会長から降ってきまして、それが起爆剤となり終始大盛り上がりで時間が過ぎていきました。

発表者の山本氏、例会構築に尽力いただいた運営委員の皆さん、ご参加を頂いたオブザーバーの皆様、お陰様で盛会となりました、ありがとうございました。



(株)タカハシ
高橋 克直(I)

J 地区会

6 支部合同企業見学会

■日時: 3月13日(木)～3月15日(土)
■会場: 大阪市内
■参加者数: 15名

参加者 広島福山支部 / 東京大田支部
大阪東大阪 / 八尾支部

J地区の3月例会は、大阪に行きました。なぜ大阪?J地区には、東京の支部にも所属しているメンバーが複数名在籍し、数年前よりお互いの地区を訪問したり、報告者を派遣したりと、様々な活動を行っていました。前回の交流は2023年の秋、東京大田支部より20名近い人数をお迎えし、福山地区の会員企業を巡っていただき、交流が行われました。そしてこの輪も大きくなり、この度は東大阪支部を訪れる企画が立ち上がり、結果、6支部を巻き込む形での企画・運営となりました。初日の3/13は前夜祭で支部を越えた交流会の開催、3/14がメインの企業見学日でした。参加人数の関係で、Aコース

(大阪石材工業(株)、チトセ工業(株)、(株)MPC、(株)ユタニ)、Bコース(フセハツ工業(株)、(株)協立化工業、NPO法人発達障害サポートセンターピュ、DG TKANO)に分かれての見学となりました。



私はAコースに参加したのですが、異業種の製造業を見させていただく中で、社員の主体性・やりがいを重視する文化形成、地域とのつながりや社会貢献意識、快適な職場環境の整備、オープンファクトリーとしての見せ方・魅せ方の工夫、SNS・デジタル広報を活用した新しい時代の経営という点で特に多くの気づきをいただきました。見学後は、各コースが一緒になって、グループ討論の場が設けられ、その後、懇親会へ。翌日の3/15は希望者でゴルフという流れで締めくくられました。今回の例会は、製造業を見学することに主眼が置かれていたものの、業界を超えたリアルな職場体験が参加者の心を動かし、多くの学びと感動を得ることができました。特に人を中心にした経営、文化としてのものづくり、企業と地域の共生などが印象に残るテーマでした。次回は東京で開催の運びとなりそうです。回を追うごとに規模も内容も大きく充実してきております。是非、次回は地区を越えて皆さんも一緒にしましょう!



福山観光旅行(株)
漆川 治樹(J)

K 地区会

『Welcome 例会 The 採用』 ～ワンチームになるために～

■日時:3月19日(水)
■会場:同友会事務局
■参加者数:17名

報告者 K地区会員3名

K地区の3月例会は採用をテーマに3名の報告者が立ちました。最初の方は、高卒採用を2名行った。一人は即退職、もう一人は、ある程度(2年半)継続するものの、業務中に先輩社員から叱責を受ける。造船業は命の危険が伴うに辺り、ごく当たり前の指摘と思われる内容だが、号泣。その後焼き肉屋で励まし、落ち着いた様子だったが後日退職の旨を受ける。昔と今の育て方の違いに悩む様子を伝えてくれた。

またもう一人は、兄弟で採用を行った体験談。最初はアルバイトからの採用だったが、弟の方は正社員に。一方お兄さんは仕事に馴染めず退職。縁故採用だったため、アルバイト時代から自社に合うか心配だったが、そのまま社員までいかざるをえなかったと語る。しかしながら、残った弟はピュアで「はい」としか返事をしない部分が、逆に周りにいい影響を与える存在になるように居場所を作っている様子を報告いただいた。

グループ討論は「採用基準、こんな人と働きたい」というテーマで討論を行った。そもそも募集していない方や免許、資格を持っている方など、今一つイメージが出来ていない方が多い印象でした。

た。なんやかんや言うて採用を常にし続ける会社はある程度大きい会社であって、目の前の仕事の延長にある会社が多いから採用に目が向かないのは当たり前だよと私の感想。

私は池永経営(株)の田中さんのアドバイスで、採用するにせよしないにせよ門戸を開いておく。自社の条件を並べておくと伝えてもらいました。そこで、①私のユーチューブをちゃんと見ろ②お前が手が遅くて勉強する時間はお金を払わない③自分の事より人の事を優先しろという労基署ギリギリの文面でハローワークへ次の日にパートの登録をしてきました。

どんなチャレンジャーが現れるか楽しみです。



つなぐをつくる(同)
原田 祐一郎(K)

S 地区会

第1「目標の進捗はどうですか？互いに評価、改善しよう！」 第2「賃上げができる企業づくりに必要なことは何か？」 をテーマにグループ討論しよう

■日時:3月19日(水)
■会場:ジーベックホール
■参加者数:25名

報告者 S地区会員全員

今月の例会では2つのテーマについてグループ討論を行いました。第1テーマ「目標の進捗はどうですか？互いに評価、改善しよう!」では、各社が進捗状況を共有し、行動計画や設備投資、生産体制の強化などの取組みが報告されました。設備導入による

生産効率向上、社内目標共有による団結、地域密着の営業戦略、新規市場開拓など多角的な視点が出ました。各自の目標に対し数字をもって行動している姿勢が印象的で、「生産性をどう高めるか」「ニーズを先読みして行動する」など前向きな意見が多く見られました。

第2テーマ「賃上げができる企業づくりに必要なことは何か?」では、最低賃金引き上げへの対応策や、生産性向上の手段について議論しました。賃金と利益のバランス、設備投資やDX、スキルアップの必要性、評価制度の導入などが論点に。特に「生産性の定義を自社で明確にし、社員と共有すること」「数字を軸にした行動が必要」との声が多く上がりました。また、雇用の安定や組織の底上げ、強みの見える化など、長期的視点での経営戦略が求められる時代であることを再確認しました。

討論を通じて各社の取組みが参考となり、自社にも活かせる気づきが得られた例会となりました。



日山塗装(株)
日山 千代(S)



青年部

ごちゃごちゃ言わずにやりゃーえーんよ。 ～ファイナルシーズン～

■日時:3月3日(月)
■会場:市民参画センター
■参加者数:53名

報告者 サークルベース 住吉 謙一郎 氏

青年部会の3月例会では、サークルベースの代表をされています住吉謙一郎氏に体験報告をいただきました。

実はこの住吉氏は、半年前にも青年部会の10月例会で発表しています。これは、今年度の5班独自の活動として、担当例会は同一人物が年間2回発表し、青年部での学びや関わりを通じて1年間でどれだけ成長するのか、気持ちや行動、数字の変化も報告するというものです。今回はその集大成として2回目の発表でした。

発表までの活動としては、前回までと同様に、班員から住吉氏に対しアドバイスや厳しい意見を出す。あれをしよう、これをしようの意見を集約し住吉氏が次の小グループまでに実践するという流れでした。その繰り返しの中で住吉氏は、できていなかった行動は何故できなかったのか、実践したのは何故実践できたのかを考えるようになりました。自問自答をしていくと、住吉氏の自身となる幹の部分が見えてきました。他の方が出していたアイデアはあくまで手段・方法であり、住吉氏の行動原理や活動の根幹が見えてくることによって、「自ら考え行動する」ということが実践できるようになっていました。もちろん発表では数字がアップした面も報告していただきました



が、住吉氏が自分と向き合うことにより経営者として大きく成長が出来たといった内容がとても素晴らしく、今後さらなる活躍してくれるに違いありません。

最後に、猪原班長をはじめ5班の皆さん、報告づくりに関わってくださった皆様、1年間ありがとうございました。そして住吉さん本当にお疲れ様でした。私自身も多くの人と関わりとても勉強となった1年間でした。ありがとうございました



神原商事(有)
神原 秀之(E)

女性部

B 地区例会に参加して

■日時:3月21日(金)
■会場:ローズコム
■参加者数:54名

報告者 協同精機(株) 新川貴子 氏

女性部の3月例会は、B地区会員・女性部会員でもある協同精機(株) 専務取締役 新川貴子氏が体験発表されるとのことで、B地区例会に参加させていただきました。

以前に協同精機さんには女性部で会社見学に行かせていただき、導入した新しい機械のこと、体に優しい粉末塗装にしたことなど伺ったことを思い出しました。その際に会社の説明を主に聞いていたのですが、この度は新川さんが入社してからの変遷を伺い、入社してからの思いの変化については自分と重なる部分が多々あり、非常に共感いたしました。軽い気持ちで入社し、腰掛気分だったこと、腰掛を卒業して、社内の問題点に危機感を感じ、様々な問題に取り組んでこられたことなど、業種は異なりますが、自分のやっていることと本当に類似点が多いことに驚きました。(人材採用、組織体制の整備、会社のビジョンの共有、人事評価制度の導入、社員教育などなど)。今後、また新川さんとお話する楽しみが増えたように思います。

グループ討論テーマは「自走する組織にするために、社員への権限移譲はどのようにされていますか?」「自走する組織」・・・私も

以前から理想の組織像と思い、ここを目指したいと思っています。そのためには、自ら考えられる職員、そして討論、意見のできる職員を育てるための教育が大事なと思います。グループ討論では、40人を超えると一人頑張っても難しいので、リーダー、右腕の育成、幹部会議や職員との日々のコミュニケーション、業務を属人化させないための定期的な部署移動、マニュアルの作成などの意見が出ていました。

私は入職した時から職員数100人越えの大所帯だったので、初めから自分一人では難しいと思い、妹を巻き込んでさらに事務長を新しく雇うことを考えて動きました。リーダー育成、職員の教育は今も試行錯誤の日々です。新川さんにも頼れる右腕が出来たらいいなと願っています。

これからも「自走する組織」にするために、日々研鑽だなど心を新たにしました。新川さん、ありがとうございました。



(医) 慈生会
前原 弘江(B)

■日時:3月6日(木)

■会場:事務局・Zoom・サテライト

■参加者数:21名

講師

(株) CF パートナース 峠本正喜氏 (広島中支部)

経営基礎講座の中の財務計画編第1回が行われました。財務を知ることは経営指針を作るうえでとても重要ですが決算書を読み解く事は苦手意識もあり後回しになってしまいます。

今回、峠本氏にまずは家計簿の話をして頂き収支の流れを大変分かり易く説明して頂きました。講話の中で①10年ビジョンの大切さ②数値計画の必要性③根拠のある売上目標の立て方を細かく解説して頂きました。売上目標から計画する場合といくら利益を出したいかからの売上目標を立てるのかと目標の立て方のさまざまなやり方がある事を知る事が出来ました。

グループ討論ではブロックパズルを使って自社の立てた方針を落とし込む為に話し合いが行われました。各社課題や決算書の理解度等の話で大変盛り上がりました。売上を上げるためには(客数)を上げるのか(客単価)を上げるのか(リピート率)をあげるのか。どんぶり勘定で売上目標を立てるのではなく、今回学びましたお金のブロックパズルを使って根拠のある売上目標を立てていきます!

経営労働委員会のセミナーは続けて参加されると理解度が上がりますしスポットの参加でも学びはありますので経営指針を作成されている方や経営指針書をブラッシュアップされたい方は是非とも積極的にご参加をお願いします!



福山中央スズキ(株)
塚本 崇義(B)

第5講財務計画編 第2回「方針に沿った財務計画を立てよう!」

■日時:3月28日(金)

■会場:事務局・Zoom・サテライト

■参加者数:19名

講師

(株) CF パートナース 峠本正喜氏 (広島中支部)

経営労働委員会主催(東部エリア)経営基礎講座に参加しました。今回は、財務計画編の第2回、講座としては最終講となります。自社の財務計画表を発表する討論から始まりました。事務局とZOOMにわかれて、受講生が宿題の発表をし、サポーターがアドバイスを内容となりました。例題をもとに自社の数字を落とし込んでいくとブロックパズルの完成ですが、作ってはみたものの内容の理解まではできていない方もおられ、特に財務計画編は基礎講座のなかでも難易度が高い回ですが、サポーターの方のアドバイスを聞いていくうちに徐々に理解していく、さらに何度もやることで改善点が見えてきます。

次に峠本さんの講義「P/L、B/Sの基本を学ぼう」です。今までやってきた内容の総決算、復習を兼ねたわかりやすい内容の講義です。何度も受けることでポイントがわかってき、決算書の内容の理解につながります。経営者としては避けて通る事のできないところなのですが、やはり数字の並んだ書類には抵抗があり、理解するには継続した勉強が必要です。参加するたびに勉強の必要さを痛感します。今回はいよいよ最終回、作成した指針書の発表の回です。より多くの方が発表できることを期待します。自社についても再作成に取り組み、会社の方向性を示せる経営指針書となるよう作り込んでいきます。



吉田労務事務所
吉田 健一(F)

■日時: 3月4日(火)
■会場: 同友会事務局
■参加者数: 10名

講師

福山市経済環境局経済部産業振興課産業振興課長 富永氏
産業振興課産業振興担当次長 松岡氏

3月の政策委員会は、福山市の産業振興課から講師をお招きし、福山学その2として福山市の2025年度支援施策をご紹介いただきました。議会への予算上程前に講師を引き受けていただけたことに、市の地元企業支援の本気を感じます。

最もボリュームが割かれていたのは、人材に関する支援でした。まず、若年者雇用、女性・障がい者・高齢者の雇用、ワークライフバランスへの取り組み等の人材確保の支援。次にものづくり大学での最先端技術の情報紹介や学びなおし、ものづくり技術継承への支援などの人材育成の支援。

私が同友会に入会した18年前の市の支援は、製造業の設備投資への助成や企業誘致を目的にしたものがメインで、製造業への支援がサービス業などの他の業種ヘトリクルダウンしていくと考えているという説明でした。製造業以外にも対象が広がったことを好感しながらも、我々中小企業が若者を福山に繋ぎとめるだけの魅力ある企業となり、高齢者や障害者も働きがいをもって就業してもらう環境を整え、女性の活躍を推進し働きやすい職場環境を整備することで、



人口流出という地方自治体が抱える一番の課題を解決する主体として期待されていることに、緊張しつつあらためて襟を正しました。

また、行政の求める企業像と同友会の目指す企業像が重なることにも気づくことができ、良い機会をいただきました。



(株)アルファ保険サービス
森上一弘(P)

環境経営委員会

グリーンな取り組みでブランド力を上げる!

■日時: 3月14日(金)
■会場: 同友会事務局
■参加者数: 18名

講師

福山ビジネスサポートセンター Fuku-Biz
プロジェクトマネージャー 池内精彦氏



皆さんは、グリーンな企業という言葉聞いたことがありますか。環境への配慮や高齢者、障がいのある方の雇用、女性の活躍促進、働きやすい職場環境の整備など、社会や人にやさしい取組を実践している企業を「グリーンな企業」と称し、活動の輪を広げていくこと。

当日は、Fuku-Bizプロジェクトマネージャー 池内 精彦氏を講師にお招きし、環境経営委員会を開催しました。まず、はじめに、環境配慮が企業価値を高める時代であり、中小企業こそ「グリーンな取り組み」をビジネス戦略に活かすチャンスですと池内氏から教えていただきました。グリーンな企業、ブランディング、過去に池内氏が携わり実践してきた横文字系の企業の実例のお話があり、ブランディングは自社のファンを作ることだと理解をすることができました。よく自社のブランディングを高めるために、商品の見せ方や自社の発信、PR等にいそがちですが、そうではなく、まずは社員やその家族が自社の一番のファンである必要があり、お客様に向き合う姿勢そのものがブランディングに繋がっていくと教えていただきました。当たり前のように行っていることが、外部から見ると自社の強みであり、その強みをどうやって相手へ伝えていくのか。という考え方を持つ必要があると感

じました。その後、「グリーンな取り組みを通してどのようにブランド力を向上していきますか」というテーマでグループ討論を行いました。業種によってグリーンな取組をしている企業としていない企業がありましたが、突き詰めていくと、既にある自社のファン(既存顧客)に適切な情報発信をし、まだ見ぬファンを獲得していく必要があるという討論になりました。なぜこの仕事をしているのか。自社の商品をどこの誰に届けるのか。ターゲットは、10年後にどうなっているのか。達成までのプロセスは。色々考えていくと日々同友会で学んでいる経営指針書にいきつきしました。皆さん一番困るのは、目標達成まで何をどう実践していくのかが一番息詰まる場所です。そんな悩みを抱えている経営者の方がいらっしゃいましたら、是非福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizを訪ねてみてください。経営課題を解決できるヒントがあるはず。必ず、福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizプロジェクトマネージャー 池内精彦氏に感謝をお伝えします。



さかもと保険(株)
坂本貴之(K)

【討議事項】

●「24年度の総括、25年度の方針の一部修正」 [掛江総会議案委員長]

・本日の資料に今期の総括と次年度の方針案を付けています。総括は前回の理事会のご意見をもとに議案委員会で検討した修正版です。

・まず総括についてです。細かい行事内容は県総会議案書に行事一覧を掲載しますので、そちらをご覧ください。前回、文章を簡略化して詳しくはQRコードで読み込んではどうか、という意見がありましたが、まだ議案書の支部全体での共有が課題のため、今年度の採用は見送ることにしました。また、支部長個人のスローガンに対する総括を入れてほしいとありましたが、議案書の総括は福山支部としての総括のため、支部長個人名での掲載は行っていません。豊田支部長も総会議案委員会のメンバーのため、議案委員会で共有を行い、内容を反映しています。

・体験報告に関する総括は、体験報告の回数を再確認したところ、例会の約3分の1だったため、書き方を修正しました。「地区会運営の手引き」と「e.doyuのマニュアル」は検討の結果、今年の議案書の掲載は見送りました。ただ、e.doyuの保存場所はわかりやすく表記します。各地区で共有と活用をお願いします。

・続いて方針です。2025年度は議案改定の年に当たらないため、中間総括と方針の微修正のみ行います。方針の大きな変更点は、会員増強の安定650名から安定680名への変更です。2024年度は組織委員会で会員増強の意義の確認と共有を行ったため、次年度は「実りの年」になると予想し、680名に変更しました。

・その他、ご意見やお気づきの点があれば、お知らせください。

●全体意見交換(意見・質問)

・地区会運営の手引きの保存場所は、複数のページに記載してほしい。
⇒ 指定のページに追加して掲載します。

●まとめ [掛江総会議案委員長]

・今回、議案委員長を拝命して福山支部の議案書を繰り返し見ました。改めて議案書の内容をいかに会社へ活かしていくことが大切に気がきました。議案書は会社の経営指針書と一緒にです。同友会と企業経営が両輪であるためにも、会社の経営指針書がしっかりしていないといけない、と思いました。

・次年度の議案の内容は本日のご意見を反映し、印刷の準備にかかります。ご協力ありがとうございました。

■報告・連絡

●専門・委員会

①広報委員会

・おかげ様で今月、皆様のもとにBATPOSTの特別号をお届けすることになりました。来月から対外広報として、金融機関等に配布します。もし金融機関の紹介が可能であれば、お知らせください。

・4月からBATPOSTの編集業者が変わります。これに伴い誌面のデザイン等が変わります。よりよい支部報を作っていきたいと思われる方は、ぜひ広報委員会にお越しください。

②地域内連携推進委員会

・「ふくやま企業の夏まつり」の案内を添付しています。35社の目標に対し現時点で24社の申込、飲食部門はすでに締切しました。飲食以外の出展は募集中です。

・「夏まつり」の前行うスタンプラリーに協力いただける企業を募集しています。スタンプラリーの対象は小学生です。普段会社が不在にしがち、危険な場所があるなどそれぞれの事情があるかと思いますが、地域の子どもたちに仕事や会社を知ってもらう機会にしたいとも思います。スタンプを集めると、「夏まつり」当日に特典を準備します。140社の目標に対し、現在約100社です。締切は今月末です。

(質問・要望)「期間やスタンプの個数、安全性の確保、e.doyuの案内方法などについて地区会から意見が出ている。委員以外の方の意見も踏まえて、再度検討いただき、改めて内容を知らせていただきたい」

⇒委員会でも再度確認、検討することになりました。

●地区会・部会

①青年部

(占部実行委員長)

・3/12(水)の支部例会は登録が約160名、青年部の40周年記念行事は約130名の方にご参加いただきました。ご協力いただき、ありがとうございました

た。企画委員会と支部例会の内容を検討するにあたり、若手の経営者で勢いのある会員に話してほしいという意見が出て、手塚社長を推薦しました。その勢いを感じていただけたと思います。

・青年部では40周年記念行事を「感謝」をテーマに開催しました。当日は青年部以外の方や青年部OBなど多くの方に参加いただきました。ちゃんと感謝を伝えられたかどうか心配もありますが、お礼を申し上げたいと思います。

(小林青年部会長)

・40周年記念行事には、初代青年部会長にお越しいただきました。5分だけのお話だったので、6月に改めて内田初代会長にお話を聞く機会を設けています。福山支部や青年部設立当初のお話を聞く機会です。詳細が決まりましたら、またご案内します。

■県関係の報告

①県理事会の報告

(宮崎県政策委員長)

・先月の県政策委員会のアンケートについて、改めてお礼を申し上げます。

・アンケート結果にもありましたが、非常に経営環境が厳しい状況です。賃金だけではなく、物価上昇も顕著です。アンケート結果は行政や金融機関に報告し、大変喜ばれています。ただ喜んでいただけるだけでは、私たちの経営状況は変わりません。政治家に意識を変えていただく必要があります。そういった意味でも今年7月の選挙は非常に大切です。国は中小企業を本当に大切に思っているのでしょうか。今年の倒産廃業件数は昨年を上回っているのではないかと思います。各政党にもこのアンケートや皆さんの声を伝え、政治で実践してもらいたいと思っています。今年は中小企業にとって本当に大切な年になります。次回のアンケートは7月に実施します。よろしく願いいたします。

②県総会の参加と経営フォーラム2025の分科会について

・5/22(木)に県総会を行います。総会、分科会、懇親会の3部構成です。分科会は3つ準備されています。各地区でお誘いあわせの上、ご参加をお願いします。県の大きな行事は県総会と経営フォーラムの2つです。地区会中心の会員の方にもお誘いいただき、県行事に参加し、一緒に分科会で勉強しましょう。昨年の当日参加は47名、委任状が333通でした。ぜひ福山支部のスローガンを実現するためにも、必ず欠席の場合は委任状の提出をお願いします。・経営フォーラムは10/7(火)です。県実行委員会から分科会立候補についてお知らせがありました。650名を誇る福山支部で分科会を持たないのもよくないのでは、と考えています。

■その他の報告

①支部活動費の執行状況

・2月末で執行のめやす91.7%に対し、69.1%と低い執行となっています。支部例会は3月支部例会の費用がまだ反映されていません。支出の見込みも含めて、予算内で収まる見込みです。

【承認事項】

①入退会の承認

■入会希望者(3名)

・エイト 代表 新田将志(D)

事業概要/美装工事を中心にアパート・施設の退去清掃会社・店舗の床清掃など掃除全般

・(株)ブレイブ 代表取締役 江見知哉(E)

事業概要/外構工事、エクステリア、解体工事

・風月堂 代表 政延三代子(S)

事業概要/菓子製造卸売

■退会希望者(4名)

・SPECTER合同会社 代表社員 本原 侑治(A)

・(株)サン・メディカル 代表取締役 ト部 忠利(B)

・(株)ぐんけい 代表取締役 東森 由倫(F)

・(株)オガワエコノス 専務取締役 小川 悟(S)

以上、承認されました。

これにより福山支部の会員数は659名となりました。

5 月行事案内

第 43 回福山支部定時総会

「私たちが創ります
私たちの学び舎を」
～今こそ主体的に動こう～

日時：5 月 14 日（水） 18 時 00 分開会
会場：福山ニューキャッスルホテル
特別会費：9,000 円
（総会・記念講演のみは無料）

第一部：総会議事
第二部：記念講演「人を生かす経営」
報告者：(株) オーザック 取締役副社長
岡崎 瑞穂 氏（代表理事）
第三部：懇親会

日	曜	全体行事	委員会・部会	地区会、他
1	木	基礎講座	経営労働	
2	金		組織	
3	土			
4	日			
5	月			
6	火			
7	水		企画	
8	木		地域内連携	
9	金			
10	土			
11	日			
12	月		青年部	
13	火		求人社員教育 政策	ダイア
14	水	支部総会		S
15	木			P
16	金			A
17	土			
18	日			
19	月	県理事会		B,I
20	火	正副		E
21	水			D,F,G,J,K
22	木	県総会		
23	金			
24	土			
25	日			
26	月		総務	
27	火		広報	
28	水	支部理事会		
29	木			
30	金			
31	土			

A 地区会

人が育つ会社とは・・・
人材育成にフォーカスし人が育つ環境には何が必要か

日時：5 月 16 日（金）19 時 00 分開会
会場：ローズコム 会費：無料
講師：島田正美社会保険労務士事務所 島田 正美 氏
昨今の中小企業を取り巻く環境において人が育つ環境には何が必要か、実例を交えながら自社に適した未来志向の組織づくりを学びます。

AI 時代に対応できない人！
お疲れ様でした！

日時：5 月 19 日（月）19 時 00 分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：Plaque 桑田 賢 氏
桑田氏に AI とは一体何なのか？これからの時代は AI を使うことでどのような進化を遂げるのか。AI がどのような新しい日本を作っていくのか説明していただきます。

昭和生まれが、今を受け入れる

日時：5 月 21 日（水）19 時 00 分開会
会場：市民参画センター 会費：無料
報告者：(有) 中村設備工業 中村 琢也 氏
若手・熟年社員がイキイキ働ける場所を作ろうと常に考え、接する中村氏。なぜそのような考え方になったのか・どんな取り組みをしているか報告していただきます。

松岡製麺（有） 松岡宏高氏
による同友会の活用方法

日時：5 月 20 日（火）19 時 00 分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：松岡製麺（有） 松岡 宏高 氏
松岡氏の同友会の活用方法をご報告いただきます。

F 地区 5 月例会

日時：5 月 21 日（水）19 時 00 分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：(株) 杉野伸不動産事務所 杉野 伸 氏
杉野氏の体験発表です。発表者をとことん知っていただき、発表者が発表して良かった例会にします。

G 地区 5 月例会
～地区総会～

日時：5 月 21 日（水）19 時 00 分開会
会場：魚鮮 会費：無料
G 地区年次総会を行います。

I 地区総会

日時：5 月 19 日（月）19 時 00 分開会
会場：西部市民センター 会費：無料
報告者：地区会長 他
新年度の方針発表と、それを受けてのグループ討論の場にしたいと思います。

J 地区 5 月例会
～懇親例会～

日時：5 月 21 日（水）18 時 30 分開会
会場：くいもの屋わん福山店 会費：5,000 円
報告者：参加者全員
お互いの近況・悩みを語り合い、更には、25 年度広島同友会ビジョンについて語り合い、自社の改善を図ります。

仕事の工夫は財産だ！
小さな企業の知恵をつなぐ場づくり

日時：5 月 21 日（水）19 時 00 分開会
会場：事務局 会費：無料
報告者：(株) 福山楽器センター 新庄 一貴 氏
各社のノウハウを相互に共有し・活用できる仕組みについて研究をします。

P 地区中間総会

日時：5 月 15 日（木）19 時 00 分開会
会場：事務局 会費：無料
P 地区の中間総会とします。

支部総会に出席しよう

日時：5 月 14 日（水）18 時 00 分開会
会場：福山ニューキャッスルホテル
会費：9,000 円（懇親会費）
報告者：(株) オーザック 岡崎 瑞穂 氏
支部総会に参加し、記念講演を自社の経営に生かします。

総務

日時：5 月 26 日（月）19 時 00 分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：前期全地区合同役員会の企画
各地区例会の企画報告
支部活動費の執行状況の確認

組織

日時：5 月 2 日（金）19 時 00 分開会
会場：事務局 会費：無料
議題：仲間づくりの進捗確認
トムソーヤの大冒険大作戦準備

企画

日時：5 月 7 日（水）19 時 00 分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：福山支部総会の企画準備
今年度の支部例会の企画

広報

日時：5 月 27 日（火）19 時 00 分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：支部報 5 月号について
支部報 6 ～ 7 月号の企画編集
今後の支部報について

経営労働

全県共通経営指針基礎講座 第 1 講
「経営理念 part1 経営理念とは」
日時：5 月 1 日（木）19 時 00 分開会
会場：事務局・Zoom、サテライト
会費：無料（テキスト代実費）

求人社員教育

日時：5 月 13 日（火）19 時 00 分開会
会場：事務局・Zoom 会費：無料
議題：今後の求人活動、社員教育活動の計画 他

政策

日時：5 月 13 日（火）19 時 00 分開会
会場：Zoom 会費：無料
議題：この間の振り返り
25 年度の計画

バリアフリー

※今月はお休みです

環境経営

※今月はお休みです

地域内連携推進

日時：5 月 8 日（木）18 時 30 分開会
会場：事務局 会費：無料
議題：ふくやま企業の夏祭りの準備

青年部

原点回帰
～価値観のシンカ～
日時：5 月 12 日（月）19 時 00 分開会
会場：ローズコム 会費：無料
報告者：部会長・各班班長
25 年度青年部年間テーマにこめた思いや取り組みの共有から、青年部の現状や存在意義を深く理解し、それぞれが主体的に行動を起こすきっかけにします。

女性部

※今月はお休みです
次回例会 6 月開催です。

有志の勉強会

ダイヤモンドクラブ
～各社の今後の課題解決に向けての取り組み②～
日時：5 月 13 日（火）19 時 00 分開会
会場：大下木型製作所 会費：無料
報告者：参加者全員
各社の課題解決に向けての取り組みを報告し合います。